

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	人体構造学	1	30	必修	可
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科3年	宮下 正好	解剖学Ⅰ・解剖学Ⅱ・解剖学実習・生理学・運動学			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法・作業療法を行う上で必要な解剖学・生理学・運動学の知識を習得する。				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運動機能系の理解;骨・関節、筋、歩行 など 2. 植物機能系の理解;呼吸・循環、消化器、泌尿器、代謝、内分泌 など 3. 動物機能系の理解;中枢神経、末梢神経、感覚 など 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この科目では、解剖学・生理学・運動学の総復習を行います。3年間の総復習となり、膨大な量を学習することになるので、授業内では概説と最重要事項の提示に留まります。授業内容をもとに、各自自主学習の時間を十分にとりましょう。 通年で開講するので、臨床実習前後に受講することとなります。臨床を経験してから改めて基礎医学系の学習をしていくので、それらの結びつきをより実感できるでしょう。</p>					
教科書・参考書					
<p>教科書： 中村隆一 他 著:基礎運動学 第6版補訂. 医歯薬出版. 2012. 坂井建男 著:系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 第9版. 医学書院. 2014. 理学療法科学学会 編:国試の達人 PT・OTシリーズ 2017 運動解剖生理学編 第21版. アイベック. 2016</p> <p>参考書： 野村 嶺 編:標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学 第3版. 医学書院. 2014 など</p>					
受講時留意点、その他					
<p>この科目の後期末試験は、最終学年、最終の定期試験です、事実上の卒業試験と認識して下さい。 進度に応じて内容を変更する場合があります。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験・後期末試験を行います。後期末試験100%で成績評価を行います。 前期末試験は原則として成績評価に含めません。 いずれも多肢選択方式、マークシートの解答用紙を使用します。			
小テスト		授業内での問題演習(4回)を予定しています。成績評価には含めません。			
レポート					
実技試験					
プレゼンテーション					
その他		正当でない理由での遅刻・欠席等は減点の対象となります。 授業中の迷惑行為、無礼な受講態度などは減点の対象となる場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4/6 (水)	コースリエンション、骨・関節、筋生理、神経生理、四肢の筋 この授業の概要を説明する。骨・関節、筋、神経の基礎を学ぶ。 【キーワード】骨、関節・筋生理・神経生理・上肢の筋・下肢の筋	宮下	基礎運動学	101・2
第2回 4/13 (水)	上肢の運動学 肩甲帯、肩、肘、手の構造と運動を学ぶ 【キーワード】関節(肩・肘・手・手指)・靭帯・運動・筋	宮下	基礎運動学	101・2
第3回 4/20 (水)	下肢の運動学 股、膝、足の構造と運動を学ぶ。 【キーワード】関節(股・膝・足)・靭帯・運動・筋	宮下	基礎運動学	107・8 103・4
第4回 4/27 (水)	中枢神経 中枢神経の構造、主な機能、伝導路を学ぶ。 【キーワード】大脳・間脳・脳幹・小脳・脊髄・下行性伝導路	宮下	解剖生理学	101・2
第5回 5/2 (月)	末梢神経 脳神経・自律神経・脊髄神経を学ぶ。 【キーワード】脳神経・交感神経・副交感神経・腕神経叢・支配神経	宮下	解剖生理学	103・4
第6回 7/6 (水)	感覚と受容器 体性感覚と特殊感覚を学ぶ。 【キーワード】皮膚・体性感覚と受容器・視覚器・聴覚器	宮下	解剖生理学	101・2
第7回 7/13 (水)	循環系 脈管系の構造、心臓の構造と機能を学ぶ。 【キーワード】動脈・静脈・心臓の構造・心拍出量・血圧・刺激伝導系	宮下	解剖生理学	101・2
第8回 7/20 (水)	呼吸系 肺、気管支、呼吸生理、呼吸運動について学ぶ。 【キーワード】気管支・肺・肺気量分画・呼吸調節・酸塩基平衡・呼吸筋	宮下	解剖生理学	101・2
定期試験 7/28 (木)	前期末試験 (第1回～第8回の内容)	宮下		101・2
第9回 10/11 (火)	顔面と体幹 顔面、頸部、体幹の運動学を学ぶ。 【キーワード】咀嚼筋・表情筋・頸部、体幹の筋の作用・脊柱の靭帯	宮下	基礎運動学 国試の達人	101・2
第10回 10/18 (火)	姿勢・歩行 立位姿勢と歩行の運動学を学ぶ。 【キーワード】立位姿勢・歩行の基本事項・重心・筋活動・床反力	宮下	基礎運動学 国試の達人	101・2
第11回 10/25 (火)	力学、運動学習 力学の基本事項と運動学習を学ぶ。 【キーワード】力学的な変数・てこ・運動学習	内田 (副校長)	基礎運動学 国試の達人	101・2
第12回 11/1 (火)	消化と吸収 消化管の構造と機能を学ぶ。 【キーワード】嚥下・胃・腸・胆肝膵・消化酵素	宮下	解剖生理学 国試の達人	101・2
第13回 11/8 (火)	尿の生成と排泄 腎臓、膀胱の構造とはたらきを学ぶ。 【キーワード】腎臓の構造・尿の生成・膀胱の構造・排尿	宮下	解剖生理学 国試の達人	101・2
第14回 11/15 (火)	代謝 栄養とエネルギー代謝を学ぶ。 【キーワード】基礎代謝・栄養素・エネルギー代謝・体温	宮下	基礎運動学 解剖生理学 国試の達人	101・2
第15回 11/22 (火)	内分泌による調節 ホルモンの働き、代謝を学ぶ。 【キーワード】分泌器官とホルモン・下垂体・甲状腺・副腎・糖代謝	宮下	解剖生理学 国試の達人	101・2
第16回 11/29 (火)	植物機能系の解剖生理 他 第9回～第15回の内容を中心に復習を行う。 【キーワード】顔面と体幹・姿勢と歩行・力学・消化器・泌尿器・内分泌	宮下	基礎運動学 解剖生理学 国試の達人	101・2
定期試験 12/5(月) 12/6(火)	後期末試験(第1回～16回の内容)	宮下		101・2

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門基礎	リハビリテーションと障害	1	30	必修	可
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 3年 作業療法学科 3年	内田成男/菊池和也/大沼賢洋 中村直人/大庭俊裕	臨床医学(内科学、精神医学、整形外科学、脳神経外科学、神経内科学)、病理学、臨床心理学など			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法・作業療法の実施に必要な臨床医学等の知識を再確認し、臨床実践に活用する。				
行動目標 (SBO)	以下の疾患等について、理学・作業療法を実施する上で重要事項を整理し理解する。 1. 脳血管障害および神経・筋疾患、 2. 内科系疾患(呼吸・循環・代謝系の疾患中心) 3. 精神科疾患および臨床心理学的基礎 4. 整形外科的(運動器)疾患 5. その他、病理学的基礎の復習等				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この科目は1, 2年生で学んだ臨床医学・臨床心理学・病理学等の知識を整理し、理学療法・作業療法を実施する上で重要な事項を復習していく専門基礎科目です。前後期を通して開講しますが、かなり広範な知識を整理し習得しなければなりません。日々の積み重ねによる粘り強い学習が求められます。</p> <p>重要なポイントを短絡的に覚えるだけではなく、その背景も含めて理解していきましょう。教科書(国試の達人:臨床医学編)は重要事項と問題集がセットになっています。該当する練習問題を着実に解き、自己の理解不足を確認していくことが大切です。</p>					
教科書・参考書					
教科書:国試の達人 PT・OTシリーズ2017年 臨床医学編(第18版) アイベック 前期後半の出版予定 ※病理学、内科学、臨床心理学、神経内科学、整形外科学、脳神経外科学など関連する臨床医学の指定教科書 参考書:医学大辞典およびこれらの電子辞書等(南山堂または医学書院)、関連科目の書籍等					
受講時留意点、その他					
この科目の後期末試験は、最終学年、最終の定期試験となります。 事実上の卒業試験 と認識して下さい。進度に応じて内容、日程を変更することがあります。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験および後期末試験を行います。 後期末試験100% で成績評価を行います。前期末試験は、原則として成績評価に含めませんが、理解度の把握には重要となりますので、真剣に取り組んでください。出題形式は多肢選択方式、マークシートの解答用紙を使用します。			
小テスト	0	2~3回の小テストを予定しています。成績評価には含めませんが、臨床実践で活用できるよう真剣に取り組んでください。			
レポート		なし			
実技試験		なし			
プレゼンテーション		なし			
その他	*	授業に対する迷惑行為、正当でない理由での遅刻・欠席、無礼な受講態度 などは減点の対象とする場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	コースオリエンテーション 神経・筋疾患① 脳血管障害、脳性麻痺等について理解する 【キーワード】神経症候、上位下位ニューロン、脳卒中、脳性麻痺の分類	内田	教科書 第17版より	理:101・2 作:109
第2回 4月11日	中枢神経・筋疾患② 変性疾患、脱髄疾患、末梢神経疾患、筋疾患などについて理解する。 【キーワード】錐体路・錐体外路、多発性硬化症、筋ジストロフィーなど	内田	教科書 第17版より	理:101・2 作:109
第3回 4月18日	一般内科① 呼吸・循環器疾患について理解する。 【キーワード】COPD、心不全、TAOとASOなど	菊池校長	教科書 第17版より	理:101・2 作:109
第4回 4月25日	一般内科② 代謝疾患、血液疾患、消化器疾患、膠原病などについて理解する。 【キーワード】IDDM、NIDDM、痛風、肝炎、腎不全、RA、SLEなど	菊池校長	教科書 第17版より	理:101・2 作:109
第5回 5月2日	整形外科① 末梢神経障害、骨折・脱臼、脊髄損傷について理解する。 【キーワード】Seddonの分類、骨折治癒過程、Frankel分類、ASIAなど	大沼	教科書 第17版より	理:101・2 作:109
第6回 OT5月2日/ PT7月4日	整形外科② RA、変形性関節症、脊柱・上肢・下肢の疾患について理解する。 【キーワード】RAの診断基準・Stage、根症状、先股脱など	内田	教科書 第17版より	理:101・2 作:109
第7回 7月11日	中枢神経・筋疾患、内科疾患、整形外科疾患のまとめ① 第1～6回目までの授業の復習と模擬問題へ	内田	教科書 第17版より	理:107・8 作:107・8
第8回 7月19日	中枢神経・筋疾患、内科疾患、整形外科疾患のまとめ② 苦手分野・理解不足の確認・整理・再学習	内田	教科書 第17版より	理:107・8 作:107・8
定期試験	前期定期試験			
第9回 10月17日	病理学① 病理学の専門用語を確認し、循環障害、変性疾患、進行性疾患について理解を深める。【キーワード】ビタミン欠乏症、感染、虚血、充血、うっ血、変性、萎縮、壊死、肥大など	中村直人 (部長)	pp1-18	101・2 108
第10回 10月24日	病理学②・リハビリテーション概論 炎症と腫瘍、感染対策・リスク管理、リハビリテーション概論について理解を深める。【キーワード】炎症の症状、腫瘍の分類、転移、標準的感染予防、臨床検査の意味	中村直人 (部長)	pp1-18 pp19-38	101・2 108
第11回 10月31日	精神医学① 精神医学領域の主な疾患について理解を深める。 【キーワード】思考障害、統合失調症、うつ病、躁病、てんかん、他	内田	pp53-76	101・2 108
第12回 11月7日	精神医学② 精神医学領域の主な疾患について理解を深める。 【キーワード】神経症、認知症、知的障害、行動症候群、中毒など	内田	pp53-76	101・2 108
第13回 11月14日	臨床心理学① 心理学領域の専門用語を確認し、防衛機制、心理検査などについて理解を深める。【キーワード】防衛機制、心理検査(知能、性格等)、心理療法など	大庭	pp39-51, 249-260	101・2 108
第14回 11月21日	臨床心理学②・人間発達学 心理学領域の基礎知識を整理し理解する。また、人間発達の基礎知識について復習する。【キーワード】障害受容、記憶、転移、学習、発達、運動発達、反射・反応など	大庭	pp39-51, 249-260	101・2 108
第15回 11月22日	第9～14回までのまとめ。 病理学、リハビリテーション概論、精神医学、臨床心理学、人間発達学 各領域の確認テストと解説	内田	pp1-76, 249-260	101・2 108
第16回 11月28日	リハビリテーションと障害 全領域の確認テストと解説	内田	前期の範囲を含めて	101・2 108
定期試験	出題範囲は「前期で学習した範囲」を含め、総合的に出題する。	内田・他		

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法研究	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科3年	渡邊祥子	基礎理学療法学、理学療法評価学Ⅰ、Ⅱ、情報統計科学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法を実践するための疑問や問題解決の手段としての研究方法論を理解する				
行動目標 (SBO)	①研究の流れが言える ②信頼性と妥当性が説明できる ③研究倫理が言える ④データ尺度を説明できる ⑤統計手法について説明できる ⑥研究計画を立てることができる ⑦研究計画書を作成することができる				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>理学療法を行う上で、研究的視点が必要になります。そのため研究に必要な基礎知識を学びます。その後実際に研究計画を立てて、予備実験を行うといった研究の流れを一部体験します。基本的に授業内で実施できるように配慮しますが、それでも授業外での演習や活動が必要な場合があります。その都度担当教員に相談や報告を行うようにし、提出期限を厳守できるように努めて下さい。</p>					
教科書・参考書					
内山靖 編. 標準理学療法学 理学療法研究法. 医学書院					
受講時留意点、その他					
<p>ワークシートの提出は授業の翌日9時まで、研究計画書および同意書の提出は、7月13日17時、最後のグループで作成するワークシート提出は、7月22日17時が締め切りです。時間厳守で提出下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
小テスト	40	研究に関わる基礎知識の小テストを実施します。			
レポート	50	個人で作成したワークシート、研究計画書および同意書にて評価します。			
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	10	予備実験の結果から、研究計画の内容を吟味したワークシート(グループで1枚)にて評価します。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	研究法総論 研究を実施するうえでの基本姿勢を学ぶ 【キーワード】研究意義	内田	—	101・2
第2回 4月7日	研究の流れと研究デザイン 研究を行う一連の流れと研究でデザインについて学ぶ 【キーワード】記述的研究、分析的研究、横断研究、縦断研究、RCT	渡邊	p6-25	101・2
第3回 4月14日	研究論文の構成 先行研究を読む際に必要な基礎知識について学ぶ。 【キーワード】変数と尺度、バイアス、対立仮説と帰無仮説	渡邊	p106-112 p254-263	101・2
第4回 4月14日	研究倫理 研究を行う上で厳守すべき倫理について学ぶ 【キーワード】ヘルシンキ宣言、倫理申請	渡邊	p36-42	101・2
第5回 4月20日	データのみかた 主に統計について学ぶ 【キーワード】過誤、記述統計、検定	渡邊	p113-157	101・2
第6回 4月21日	研究に関わる基礎知識の復習(小テスト)、先行研究調査(1) 第2～5回の小テストを行う。 研究テーマを選定するために、先行研究を調査する。	渡邊 赤岩	p44-58	1組:107 2組:101・2
第7回 4月28日	先行研究調査(2) 研究テーマを選定するために、先行研究を調査する。 【キーワード】文献収集、文献データベース	渡邊	p44-58	101・2
第8回 4月28日	先行研究調査(3) 文献を読んで、先行研究の内容を吟味する。 【キーワード】研究背景、PECO	渡邊	p44-58	101・2
第9回 7月7日	研究計画書作成演習(1) 研究計画についてグループで相談する。 【キーワード】研究計画	渡邊	p19-22	PC室
第10回 7月7日	研究計画書作成演習(2) 研究計画についてグループで相談する。 【キーワード】研究計画	渡邊	p19-22	PC室
第11回 7月13日	研究計画書作成演習(3) グループで相談し合った内容にて、個々で研究計画書を作成する。 【キーワード】研究計画書、同意書	渡邊	p19-22	PC室
第12回 7月13日	研究計画書作成演習(4) グループで相談し合った内容にて、個々で研究計画書を作成する。 【キーワード】研究計画書、同意書	渡邊	p19-22	PC室
第13回 7月14日	予備実験(1) 予備実験を行い、データを収集する。 【キーワード】データ収集、データ保管	渡邊	—	治療室 機能訓練 室
第14回 7月14日	予備実験(2) 予備実験を行い、データを収集する。 【キーワード】データ収集、データ保管	渡邊	—	基礎医学 実習室
第15回 7月21日	予備実験検証 予備実験から計画書の内容を再検討する。 【キーワード】研究計画書	渡邊	—	101・2
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	理学療法研究演習	1	30	選択	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科3年	渡邊祥子	理学療法研究、情報統計科学			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法に関するリサーチクエスチョンを解決する方法が理解でき、実施することができる。				
行動目標 (SBO)	①研究計画に則り、研究を実施することができる。 ②研究結果を分析することができる。 ③研究結果を考察することができる。 ④研究内容をまとめることができる。 ⑤研究内容を発表することができる。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>前期科目である理学療法研究で計画したものを基に、実際に研究を行っていきます。基本的に授業内で実施できるように配慮しますが、それでも授業外での演習や活動が必要な場合があります。その都度担当教員に相談や報告を行うようにし、円滑に研究を進めて下さい。グループごとに進行度が変わると思います。発表日に発表できるように、グループで調整しながら実施していきましょう。</p>					
教科書・参考書					
内山靖 編. 標準理学療法学 理学療法研究法. 医学書院					
受講時留意点、その他					
<p>各グループ計画に沿って実施して下さい。また実際どこまで行えているのか、毎回授業終了後に担当教員まで報告下さい。教員からのアドバイスは、グループごとで異なりますので、積極的に質問をしに来て下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
小テスト	0				
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	100	パワーポイントで作成した発表用スライドの内容と、発表時の内容について評価します。			
その他	0				
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 10月12日	本調査事前準備 本調査に入る前に、再度研究計画を見直し、手順について振り返る。 本調査に使用する物品について確認する。	渡邊	184-225	101
第2回 10月19日	本調査(1) 研究計画の手順に従って、データ収集を行う。	渡邊	184-225	治療室・機能 訓練室 他
第3回 10月19日	本調査(2) 研究計画の手順に従って、データ収集を行う。	渡邊	184-225	治療室・機能 訓練室 他
第4回 10月20日	本調査(3) 研究計画の手順に従って、データ収集を行う。	渡邊	184-225	機能訓練室・ 基礎医学実 習室 他
第5回 11月1日	本調査(4) 研究計画の手順に従って、データ収集を行う。	渡邊	184-225	治療室・基礎 医学実習室 他
第6回 11月1日	本調査(5) 研究計画の手順に従って、データ収集を行う。	渡邊	184-225	治療室・基礎 医学実習室 他
第7回 11月2日	データ解析(1) 収集したデータを分析し、その結果について考察する。	渡邊	106-156 228-252	101
第8回 11月9日	データ解析(2) 収集したデータを分析し、その結果について考察する。	渡邊	106-156 228-252	101
第9回 11月9日	データ解析(3) 収集したデータを分析し、その結果について考察する。	渡邊	106-156 228-252	101
第10回 11月18日	発表準備(1) 研究内容をパワーポイントでまとめ、発表できる形にする。	渡邊	160-182	101
第11回 11月18日	発表準備(2) 研究内容をパワーポイントでまとめ、発表できる形にする。	渡邊	160-182	101
第12回 11月22日	発表準備(3) 研究内容をパワーポイントでまとめ、発表できる形にする。	渡邊	160-182	101
第13回 11月22日	発表準備(4) 研究内容をパワーポイントでまとめ、発表できる形にする。	渡邊	160-182	101
第14回 11月30日	発表(1) 各グループで研究内容を発表する。	渡邊	—	101
第15回 11月30日	発表(2) 各グループで研究内容を発表する。	渡邊	2-156	101
定期試験	定期試験は実施しない。	—	—	

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	基礎理学療法学Ⅱ	1	30	選択	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 3年	宮下 正好／植田英則 赤岩 龍士	解剖学Ⅰ、解剖学Ⅱ、解剖学実習、運動学、生理学、機能診断学、運動機能評価学 ほか			
授業目標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法に必要な基礎的知識を高める。				
行動目標 (SBO)	1. 理学療法に特に関連の深い基礎医学分野の知識を修得する。 (運動器、神経系、呼吸・循環) 2. 基本的な検査・測定 of 知識を再確認する。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業は、理学療法の基礎となる基礎医学の内容について復習していきます。 理学療法に特に関連の深い、運動器、神経系、呼吸・循環系の内容を中心に学んでいきます。対象は臨床実習を終了した3年生なので、実習を通じて重要だと感じた基礎の部分の良い復習となるでしょう。 また、理学療法評価の基礎となる検査・測定の部分においても復習していきます。臨床実習で習得してきた技術・知識を確かなものとするため、身体を動かすことも交えながら学習していきます。</p>					
教科書・参考書					
中村 隆一 他:基礎運動学. 第6版補訂. 医歯薬出版. 2014 教科書 : 理学療法科学学会編:国試の達人 PT・OTシリーズ 2017年 運動解剖生理学編. 第22版. アイペック. 2017 理学療法科学学会編:国試の達人 PT・OTシリーズ 2017年理学療法編. 第17版. アイペック. 2017 新徒手筋力検査法第9版.協同遺書出版.2014 参考書 : 野村 巖 (編):標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 解剖学. 第4版. 医学書院. 2015 ほか					
受講時留意点、その他					
<p>グループ学習の形式で進めます。周囲と協調して積極的な姿勢で受講してください。 宿題などを予定しています。期限を守って必ず提出して下さい。 後期末試験を予定しています。合格できなかった場合、卒業の要件を満たさず卒業不可となります。事実上の卒業試験となります。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を行います。			
小テスト					
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	*	授業での迷惑行為、無礼な態度、正当でない理由での欠席は減点の対象となります。宿題提出遅れ・未提出・内容不備の場合、減点の対象とする場合があります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 10月12日	骨・関節の構造と機能 骨・関節の基本構造を学ぶ。 【キーワード】骨の構造、分類・骨の成長・関節の構造・関節の分類	宮下	基礎運動学 国試の達人	講堂
第2回 10月12日	検査測定① 足趾の筋力検査および下肢検査別法について学ぶ。 【キーワード】MMT・足趾・下肢別法	赤岩	MMT第9版 P206～P280	講堂
第3回 10月19日	筋生理 筋の基本的な構造、筋収縮の生理を学ぶ。 【キーワード】筋線維・筋原線維・興奮収縮連関	宮下	基礎運動学 国試の達人	103
第4回 10月19日	検査測定② 手、手指の筋力検査および上肢検査別法について学ぶ。 【キーワード】MMT・手指	赤岩	MMT第9版 P167～P203	103
第5回 10月26日	四肢の筋の解剖 四肢の重要な筋の起始、停止等を学ぶ。 【キーワード】起始・停止・作用・支配神経	宮下	基礎運動学 国試の達人	講堂
第6回 11月2日	検査測定③ 脳神経支配筋(顔面筋)の筋力検査について学ぶ。 【キーワード】MMT・顔面	赤岩	MMT第9版 P282～P334	講堂
第7回 11月2日	四肢の運動学 四肢の運動学の重要事項を復習する。 【キーワード】肩・肘・手・股・膝・足	宮下	基礎運動学 国試の達人	講堂
第8回 11月9日	神経生理 ニューロンの構造とはたらき、反射活動を学ぶ。 【キーワード】ニューロン・伝導・伝達・反射・抑制	宮下	基礎運動学 国試の達人	107
第9回 11月9日	検査測定④ 臨床的な検査測定について学ぶ。 【キーワード】MMT別法	赤岩	MMT第9版 P336～P412	107
第10回 11月15日	検査測定⑤ 演習問題を実施し、実際に実技をしながら解説をする。 【キーワード】上肢・MMT	植田	MMT第9版 国試の達人	機能訓練室
第11回 11月16日	中枢神経 中枢神経の構造と伝導路を学ぶ。 【キーワード】大脳・間脳・脳幹・脊髄・小脳・伝導路	宮下	解剖生理学 国試の達人	107
第12回 11月22日	検査測定⑥ 演習問題を実施し、実際に実技をしながら解説をする。 【キーワード】下肢・MMT	植田	MMT第9版 国試の達人	機能訓練室
第13回 11月22日	循環器 脈管系の解剖を学ぶ。心臓の解剖、生理を学ぶ。 【キーワード】動脈・静脈・心臓・循環の調節	宮下	解剖生理学 国試の達人	講堂
第14回 11月30日	呼吸系 呼吸器系の構造と働きを学ぶ。 【キーワード】気管・気管支・肺・呼吸の調節・酸塩基平衡	宮下	解剖生理学 国試の達人	107
第15回 11月30日	検査測定⑦ 演習問題を実施し、実際に実技をしながら解説をする。 【キーワード】頸部体幹・MMT	植田	MMT第9版 国試の達人	治療室
定期試験	後期末試験			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	症例検討	1	30	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 3年	三田久載	理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、臨床実習Ⅱ・Ⅲ			
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	代表的な疾患に対しての一連の理学療法思考を体験し、グループ内で討論することが出来る。				
行動目標 (SBO)	症例検討の方法を知る 症例の疾患特性と個別性をもとに検討内容を起案することが出来る。 検討内容について意見の根拠となる知識を文献等を使い調べることが出来る。 検討内容を参考に理学療法ゴール、プログラム等の修正が出来る。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>症例検討とは、症例の理学療法効果や経過などから、提供した理学療法と理学療法士の思考過程を検討することです。この授業では、症例検討に必要な知識とプレゼンテーションに必要な態度や話し方等を学びます。前半は、症例検討の仕方や実際の例をあげ症例検討自体を学び、後半は臨床実習提出課題の自身で作成した「レジюме」を使った症例検討会を体験していただきます。検討会では、話す態度や聴く態度も重要です。また、発言数も成績に関与されません。活発な検討会が出来るよう準備をしていきましょう。</p>					
教科書・参考書					
特に指定しない					
受講時留意点、その他					
<p>体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネッツなどでお知らせします。注意深く見ておくようにして下さい。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
小テスト	0				
症例報告	70	症例報告書の作成			
実技試験	0				
プレゼンテーション	30	発表の内容、質疑応答への積極参加など			
その他	*	授業に対する迷惑行為、清潔感にかける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月4日	症例の記録の仕方、統合と解釈 評価結果の解釈と統合の仕方を理解する 【キーワード】疾患特性、中枢神経疾患の検査測定、動作分析	三田久載		101・102
第2回 4月11日	考察の仕方 問題点の優先順位と目標設定、治療方針の立て方を理解する 【キーワード】疾患特性、整形外科的検査、動作分析	三田久載		101・102
第3回 4月18日	整形外科疾患の症例検討 症例の個別性、問題点の抽出、理学療法プログラムについて 【キーワード】疾患個別性、理学療法問題点、理学療法プログラム	三田久載		101・102
第4回 4月25日	中枢神経疾患の症例検討① 症例の個別性、問題点の抽出、理学療法プログラムについて 【キーワード】疾患個別性、理学療法問題点、理学療法プログラム	三田久載		101・102
第5回 5月2日	中枢神経疾患の症例検討② 症例の個別性、問題点の抽出、理学療法プログラムについて 【キーワード】疾患個別性、理学療法問題点、理学療法プログラム	三田久載		101・102
第6回 7月4日	症例検討会Ⅰ－① 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載		101・102
第7回 7月11日	症例検討会Ⅰ－② 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載		101・102
第8回 7月11日	症例検討会Ⅰ－③、まとめ 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載		101・102
第9回 10月17日	発表原稿の作成方法 要点整理された発表原稿を作るためのポイントを理解する。	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第10回 10月24日	症例検討会Ⅱ－① 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第11回 10月24日	症例検討会Ⅱ－② 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第12回 10月31日	症例検討会Ⅱ－③ 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第13回 10月31日	症例検討会Ⅱ－④ 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第14回 11月7日	症例検討会Ⅱ－⑤ 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第15回 11月7日	症例検討会Ⅱ－⑥ 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102
第16回 11月14日	症例検討会Ⅱ－⑦、まとめ 臨床実習提出課題の症例報告書を用いて症例検討会を行なう	三田久載 PT学科教員	適宜、 レジュメ配布	101・102

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学	2	60	必修	可
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 3年	市村真樹				
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法専門分野における基礎学力の習得				
行動目標 (SBO)	理学療法の「理学療法評価法」を学ぶ。 理学療法の「整形外科学」を学ぶ。 理学療法の「脳血管障害」を学ぶ。 理学療法の「神経筋障害」を学ぶ。 理学療法の「脊髄損傷」を学ぶ。 理学療法の「生体力学」を学ぶ。				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この授業は、理学療法の専門知識を復習し、臨床現場で必要な知識の習得を目的とします。					
教科書・参考書					
教科書 : 国試の達人2017(理学療法科学学会編) クエスチョンバンクPT専門(メディックメディア) 参考書 : 病気が見える 脳・神経:(メディックメディア) 基礎運動学第6版:(医歯薬出版株式会社) など					
受講時留意点、その他					
体調管理をしっかり行い、休まずに受講して下さい。 受講時は礼儀正しく、清潔な身だしなみ(頭髪、服装など)を心がけましょう 内容、時間割を変更することがあります。その際は、掲示板、デスクネッツなどでお知らせします。注意深く見ておくようにして下さい。 このシラバスの授業スケジュールは前期分のみです。後期開始時に後期分を加えたシラバスを新たに配布します。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	前期末試験、後期末試験を行う。それぞれ6割以上で合格とする。前期試験は再試験を行なわない。後期試験で60点以下の者は再試験を行なう。後期再試験結果が6割以下の場合、前期試験の結果から60を引いた値の1/4を加算し6割を満たす場合のみ、合格とする。			
小テスト	0				
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	*	科目に対する興味、関心、学習に対する積極性が良好な場合、加点の対象とする場合がある。 授業に対する迷惑行為、清潔感にかける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月5日	学習方法の検討・イントロダクション	市村真樹	配布資料	101・2
第2回 4月5日	<u>理学療法評価法 1</u> 【キーワード】可動域測定・MMT	市村真樹	配布資料	101・2
第3回 4月12日	<u>理学療法評価法 2</u> 【キーワード】触診・代償運動・筋力低下のみかた	市村真樹	配布資料	101・2
第4回 4月12日	<u>理学療法評価法 3</u> 【キーワード】協調性と平等性・筋緊張・感覚・反射	市村真樹	配布資料	101・2
第5回 4月19日	<u>整形外科 1</u> 【キーワード】関節症・骨折・靭帯損傷・末梢神経損傷・上肢障害	市村真樹	配布資料	101・2
第6回 4月19日	<u>整形外科 2</u> 【キーワード】上肢の障害・下肢の障害・脊椎の障害	市村真樹	配布資料	101・2
第7回 4月26日	<u>脳血管障害 1</u> 【キーワード】評価・リスクと問題点	市村真樹	配布資料	101・2
第8回 4月26日	<u>脳血管障害 2</u> 【キーワード】理学療法プログラム急性期・回復期・維持期	市村真樹	配布資料	101・2
第9回 7月5日	<u>神経筋障害 1</u> 【キーワード】パーキンソン病・運動失調症	市村真樹	配布資料	101・2
第10回 7月5日	<u>神経筋障害 2</u> 【キーワード】多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症・ギランバレー症候群	市村真樹	配布資料	101・2
第11回 7月12日	<u>脊髄損傷 1</u> 【キーワード】機能評価・合併症・機能残存レベルと目標機能	市村真樹	配布資料	101・2
第12回 7月12日	<u>脊髄損傷 2</u> 【キーワード】PTプログラム	市村真樹	配布資料	101・2
第13回 7月19日	<u>生体力学 1</u> 【キーワード】力の合成と分解	市村真樹	配布資料	101・2
第14回 7月19日	<u>生体力学 2</u> 【キーワード】身体とてこ	市村真樹	配布資料	101・2
第15回 7月21日	まとめの演習問題 【キーワード】	市村真樹	配布資料	101・2
定期試験 7月27日	前期末試験	市村真樹		

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学	2	60	必修	可
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科2年生	市村真樹・宮下正好・植田英則・赤岩龍士・大沼賢洋				
授 業 目 標 *詳細な目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	理学療法専門分野における疾患別の基礎学力の習得				
行動目標 (SBO)	1. 理学療法における「整形外科疾患とその評価法」を学ぶ 2. 理学療法における「神経筋疾患」を学ぶ 3. 理学療法における「CVA」を学ぶ 4. 理学療法における「呼吸器疾患」を学ぶ 5. 理学療法における「脊髄損傷損傷」を学ぶ 6. 理学療法における「義肢装具対象疾患」を学ぶ 7. 理学療法における「物理療法対象疾患」を学ぶ 8. 理学療法における「小児発達障害」を学ぶ				
<p>この授業は、前期で実施した内容に加え、さらに専門的な演習問題を解きながら、理学療法の専門知識を復習していきます。勉強方法や成績について心配な人は相談してください。補習や対策を検討します。問題を先送りにしないで早期に解決し、良い結果が得られるようにしましょう。</p> <p>この授業には予習と復習が必要です。各自十分な準備と復習を心がけてください。</p>					
教科書・参考書					
教科書 : 国家試験の達人 参考書 : クエスチョンバンク理学療法士専門問題、国家試験必修ポイントなど					
受講時留意点、その他					
各分野ごとの教科書、参考書等を持参すること					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	後期末試験を実施する。出題は200問 360点満点 216点以上を合格の目安とする。			
小テスト	0				
レポート	0				
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	※	授業内で、周囲に対しての迷惑行為、居眠り等は減点の対象となります。			
(合計)	100				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 10月13日	整形外科的評価①	大沼賢洋	国達PT編 配布資料	101, 2
第17回 10月13日	整形外科的疾患①	大沼賢洋	国達PT編 配布資料	101, 2
第18回 10月20日	神経筋疾患	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第19回 10月20日	CVA①	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第20回 10月27日	CVA②	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第21回 10月27日	呼吸器疾患	宮下正好	国達PT編 配布資料	101, 2
第22回 11月10日	物理療法	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第23回 11月10日	ADL	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第24回 11月17日	臨床運動学	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第25回 11月17日	脊髄損傷	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第26回 11月24日	整形外科評価②	大沼賢洋	国達PT編 配布資料	101, 2
第27回 11月24日	整形外科疾患②	大沼賢洋	国達PT編 配布資料	101, 2
第28回 12月1日	義肢学	植田英則	国達PT編 配布資料	101, 2
第29回 12月1日	装具学	市村真樹	国達PT編 配布資料	101, 2
第30回 12月2日	小児・発達	赤岩龍士	国達PT編 配布資料	101, 2
定期試験				

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床理学療法学実習	2	60	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科3年	植田英則・三田久載・ 渡邊祥子・(外部講師)	理学療法評価学Ⅰ・Ⅱ、運動機能評価学、神経機能評価学、骨関節疾患理学療法学、中枢神経理学療法学など			
一般目標 (GIO)	臨床に対応した知識・技術を身につける。				
行動目標 (SBO)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報から対象にあった評価・治療を立案できる。 2. 対象の状態、場所にあわせて評価・治療ができる。 3. 対象に妥当性のある検査・測定を選択し、実施・評価できる。 4. 実施した内容をまとめ、報告書を作成することができる。 5. リスク管理ができる。 				
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>この授業は臨床実習Ⅲにあたり、実習に耐えうる知識技術を身につける授業である。臨床実習で多く遭遇する疾患を提示し、具体的に評価・治療を進められるよう授業を行う。実技試験ではOSCE形式をとる。OSCEとは客観的臨床能力試験と呼ばれるものであり、その名の通り臨床能力をを測る試験である。臨床実習で問われる能力をここで身につけるよう、不明な点は積極的に質問し解決していくこと。また、授業時間だけでは練習が不足するため、放課後や空き時間を利用しすすめてほしい。事前に教員にアポイントをとっていただければ一緒に練習をすることが可能である。</p>					
教科書・参考書					
特に指定しない。					
受講時留意点、その他					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習開始前、必ず手洗いをすること。 2. Tシャツ、ハーフパンツ等動きやすい服装、靴下は白を着用し出席すること。 3. 服装、身だしなみは清潔感のあるものとする。 4. 実習施設であると思い緊張感を持つこと。 5. 被験者を本当の患者であるように対応すること。 6. OSCE実施時は実習衣を着用すること。 					
成績評価方法					
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	0				
小テスト	0				
レポート	30	後期:15回終了後レポートを作成し提出する。レポートは提出期限を15回終了1週間後とする。文字数は1600字とする。採点は1. 提出期限を守る。2. 様式を守る。3. 誤字脱字がない。4. 意見を述べる。以上を中心に採点する。			
実技試験	0				
プレゼンテーション	0				
その他	70	前期:授業中に整形疾患と中枢神経疾患各1症例提示し、OSCEではその1症例について実技技能を確認する。確認項目についても事前に口頭で伝達する。 授業に対する迷惑行為、清潔感にかける身だしなみなどは減点の対象とする場合がある。 正当でない理由での欠席は減点の対象とする場合がある。			
(合計)	100				

回数 目付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第1回 4月8日	オリエンテーション、症例提示① この授業で目的、目標、スケジュールなどを確認、理解する。 臨床実習で多く経験する整形外科疾患の症例を1例提示する。	植田		治療室
第2回 4月8日	症例提示② 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	三田		機能訓練室
第3回 4月8日	実技指導① 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	三田		機能訓練室
第4回 4月12日	実技指導② 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	植田		治療室
第5回 4月13日	実技指導③ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	三田		機能訓練室
第6回 4月22日	OSCE① 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	植田・渡邊		治療室 講堂
第7回 4月22日	OSCE② 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	植田・渡邊		治療室 講堂
第8回 4月22日	OSCE復習① 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	三田		機能訓練室
第9回 7月8日	症例提示③ 臨床実習で多く経験する整形外科疾患の症例を各1例提示する。	植田		治療室
第10回 7月8日	症例提示④ 臨床実習で多く経験する中枢神経疾患の症例を1例提示する。	三田		機能訓練室
第11回 7月12日	実技指導④ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	植田		機能訓練 室
第12回 7月15日	実技指導⑤ 提示した症例問題に対し評価・治療を進める。	三田		機能訓練室
第13回 7月22日	OSCE③ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	植田・渡邊		治療室 基礎医学実 習室
第14回 7月22日	OSCE④ 提示した症例から1症例に対し評価治療を実施し、行動観察する。	植田・渡邊		治療室 基礎医学実 習室
第15回 7月22日	OSCE復習② 良かった点、改善点など総評し、実際に模範例を示す。	植田		治療室
定期試験				

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
第16回 10月14日	ボバース法① 基本的概念、対象、手技を学ぶ。	大槻利夫 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第17回 10月14日	ボバース法②	大槻利夫 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第18回 10月14日	ボバース法③	大槻利夫 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第19回 10月14日	ボバース法④	大槻利夫 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第20回 10月28日	徒手医学① 脊柱の評価から関節・軟部組織mobilization技術を学ぶ。	相原忠洋 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第21回 10月28日	徒手医学②	相原忠洋 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第22回 10月28日	徒手医学③	相原忠洋 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第23回 10月31日	PNF① 基本的概念、対象、手技を学ぶ。	斎藤佳久 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第24回 10月31日	PNF②	斎藤佳久 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第25回 10月31日	PNF③	斎藤佳久 (外部講師)		治療室 機能訓練 室
第26回 11月9日	認知運動療法①	内田成男		101, 2
第27回 11月11日	認知運動療法②	内田成男		治療室 機能訓練 室
第28回 11月11日	認知運動療法③	内田成男		治療室 機能訓練 室
第29回 11月25日	足底板① 足底板の目的、対象、方法を学ぶ。	岡部敏幸 (外部講師)		講堂
第30回 11月25日	足底板② 足底板を実際に作成する。	岡部敏幸 (外部講師)		講堂
定期試験	なし			

授業科目区分	授業科目名	単位	時間	必修・選択	聴講生受入
専門	臨床実習Ⅲ	14	630	必修	—
対象学科・学年	担当教員名	この科目と関連の深い科目			
理学療法学科 3年	臨床実習指導者 3年生担任教員	骨・関節疾患理学療法学、中枢神経疾患理学療法学、臨床理学療法学、症例検討 など			
授業目標 *詳細な授業目標は、毎回授業の冒頭で提示					
一般目標 (GIO)	<ul style="list-style-type: none"> 対象者および実習施設スタッフに医療（あるいは福祉）チームの一員として適切な態度で接することを学ぶ。 基本的な検査・測定・介助を対象者に適切に実施できる。 基本的な運動療法・介助等を対象者に適切に実施できる。対象者の障害像を把握し、ゴール・プログラム立案を学ぶ。 				
行動目標 (SBO)	<p>*詳細な内容は、臨床実習記録の「到達度記録」を参照する。</p> <p>(情意領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な身だしなみができる。 対象者、職員に節度をもって接することができる。 環境整備や周辺業務に自ら取り組む。 気配りができる。 医療面接；傾聴し、分かりやすい言葉で説明・指示をする。 <p>(精神運動領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> バイタルサインの測定ができる。 形態測定、ROM-T、MMT ができる 筋緊張検査、反射検査、感覚検査、片麻痺機能検査ができる。 動作介助（起居動作、移乗動作、車椅子介助、歩行）ができる。 杖の調整ができる。 関節可動域運動ができる。 筋力維持、増強運動（徒手、器具）ができる。 基本動作練習（床上動作、立ち上り）ができる。 姿勢改善（調整）練習（座位、立位）ができる。 歩行練習（介助、歩行補助具の使用、安全性への配慮）ができる。 <p>(認知領域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 検査・測定項目を列挙できる。 動作（起居動作、座位、立位、歩行）の観察ができる。 障害に対する考察ができる（関節可動域制限、筋力低下、筋緊張、動作障害） プログラム立案ができる（関節可動域運動、筋力維持・増強運動、基本 				

	<p>動作練習、歩行練習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 問題点を列挙できる (機能障害・活動制限・参加制約) ・ ゴール設定ができる (短期・長期) ・ 理学療法記録を作成できる。理学療法記録を適切に管理できる。
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など	
<p>この授業は、学外の実習施設へ通い、臨床実習指導者の下で行われます。診療場面に参加し、様々な体験、見学を行います。実習は以下のような方法で行われます。</p> <p>(1) 診療参加型臨床実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実習生が臨床実習指導者の助手として、診療補助行為を行うことによって、臨床経験を積んでいく授業形態です。 ・ 臨床実習Ⅱの検査・測定、介助に、治療を加えた実習内容となります。指導者が担当している複数の対象者に対し、指導者の指示のもとで治療 (関節可動域運動 等) を実施する経験を積みながら治療技術を習得していきます。 ・ 1人の対象者に対し、ある部分は自分で実施し、ある部分は指導者が実施するのを見学する形になります。この過程で当該対象者の障害像を把握し、ゴール・プログラム立案を指導者の指導を受けながら行います。 <p>(2) 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行動記録、実習記録 (体験数)、1日の振りかえりなどを記載します。 ・ 体験数は以下のように区別して記録します。 <ul style="list-style-type: none"> 「見学」: 指導者の治療などを、解説を受けながら見学した場合。 「模倣」: 指導者がお手本を示し、それを模倣した場合。口頭で指導を受けながら、指導者が手を添えて誘導しながら、など直接指導を受けながら対象者に介入した場合も含む。 「実施 (監視)」: 指導者に近くで監視してもらいながら行う。口頭による指導など受けながらも含む: 「実施 (独立)」: 指導者が近くにいなくても実施を任されて行う場合。完全な独立でなく、指導者は遠位で監視している状態。 ・ 指導者による指導のもと、技術が向上してくると「実施 (独立)」が増えていきます。「実施 (独立)」を1つ1つ増やしていくことを目標に取り組みましょう。 ・ 毎日記載して、臨床実習指導者へ提出します (学校指定の書式使用)。 ・ 指導者は確認してサインをします。 <p>(3) 診療記録ノート (理学療法記録)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経験したケースについて記録を記載します。その日に経験した症例2~3例について、1時間程度で記載します。 	

- ・ 記録は施設外へ持ちださず、ルールを守って記載・記録します。記録の取り扱いを通して、個人情報の適切な取り扱いを学びます。
- ・ 3年次では専門用語を活用して記載を目標にしましょう。形式は SOAP を採用し、特に「0」と他項目を正確に区別して記載できるようにしましょう。

(4) 症例報告書

- ・ A3 1枚程度の報告書を、指導者の指導のもとで作成し、学校へ提出します。
- ・ 指導者の担当症例のうち自分が部分的に関わっている症例、自分が中心となって担当している症例 などの中から1例の選択を原則とします。
- ・ 学校へ提出後、学内で症例報告会を行います。
- ・ 症例報告書の作成を通し、障害に対する思考過程を学びます。
- ・ 指導者の考え方をお手本にして、一通りの思考過程を報告書の形にまとめましょう。

教科書・参考書

臨床実習の手引き（本校編集授業資料）

臨床実習記録（本校編集授業資料）

その他、学内授業で活用した教科書

理学療法評価学（金原出版）、徒手筋力検査法（協同医書）、

運動器障害理学療法学テキスト（南山堂）、神経障害理学療法学Ⅰ（中山書店） など

受講時留意点、その他

- ・ 服装は、学校指定のユニフォームとします。ただし、実習施設で指定がある場合それにしたがってください。
- ・ 実習施設の規則を守り、理学療法学生として適切な行動を心がけてください。
- ・ 原則的に、土日の開講はありません。ただし、実習施設や実習指導者の勤務の関係で曜日変更となる場合があります。
- ・ 持参資料 及び 学校提出物、返却物 は以下の通りです。

施設へ持参する資料（実習初日に持参）

臨床実習記録

学校へ提出する資料（実習終了後）

臨床実習記録（*）・実習日誌・症例報告書・学生個人票（*）

*実習最終日に指導者から返却を受けてください。

成績評価方法		
評価方法	評価割合(%)	具体的な評価の方法、観点 など
定期試験	0	
小テスト	0	
レポート	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習終了後に提出する「実習日誌」を10%で採点する。 ・ 同じく「症例報告書」を10%で採点する。
実技試験	0	
プレゼンテーション	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨床実習セミナーでの発表、討論を10%で採点する。
その他	70	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「臨床実習記録」（「到達度記録」を中心として）を、70%で採点する。 ・ 正当でない理由での欠席は減点の対象となる。 ・ 対象者、施設への迷惑行為、個人情報の漏えいや漏えいの危険性のある行為は減点の対象となる。 ・ 対象者、施設への迷惑行為の内容によっては、他の成績の状況を問わず、単位認定をしない場合がある。 ・ 個人情報の漏えいまたは漏えいの危険性がある行為を行った場合、内容によっては他の成績の状況を問わず、単位認定をしない場合がある。
(合計)	100	

回数 日付	テーマ、内容、キーワード	教員	教科書	教室 教材
	臨床実習準備講座：実習地の発表、オリエンテーション	3年担任	臨床実習 のてびき	101・2
第1週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載	実習指導者		実習施設
第2週	〃	実習指導者		実習施設
第3週	〃	実習指導者		実習施設
第4週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載 到達度チェック、実習地訪問（専任教員）	実習指導者		実習施設
第5週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載 問題点の列挙、プログラム立案、ゴール設定	実習指導者		実習施設
第6週	〃	実習指導者		実習施設
第7週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載 問題点の列挙、プログラム立案、ゴール設定	実習指導者		実習施設
第8週	〃	実習指導者		実習施設
	臨床実習セミナー	3年担任		実習施設
第9週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載	実習指導者		実習施設
第10週	〃	実習指導者		実習施設
第11週	〃	実習指導者		実習施設
第12週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載 到達度チェック、実習地訪問（専任教員）	実習指導者		実習施設
第13週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載 問題点の列挙、プログラム立案、ゴール設定	実習指導者		実習施設
第14週	〃	実習指導者		実習施設
第15週	〃	実習指導者		実習施設
第16週	検査・測定、介助、治療実施、診療記録ノート記載 問題点の列挙、プログラム立案、ゴール設定 到達度チェック	実習指導者		実習施設
	臨床実習セミナー：症例報告会など			101・2